

無料低額診療制度の研修

制度を地域や患者・利用者に 広く知っていただくために

一目で分かるよう 4コマ漫画で

同仁会では毎年全職員を対象として制度教育を実施しています。その一環として、今年は職場ごとに無料低額診療制度の学習と、この制度を地域や患者・利用者に広く知っていただく取り組みを実際に行うことを課題の一つとしました。



同仁会での 無料低額診療事業



無料低額診療制度を 広く地域に知らせる

た。SNSの活用や各種の配布物に掲載することを検討しています。

同仁会は今までも、無料低額診療制度を広く地域にお知らせするため、NPO法人を訪問して説明したり、自治会の役員と会員を対象とした無償診療事業「紙芝居学習会」をしたりしてきました。

まだまだ、この制度は知られておらず、総合病院のERを受診して、治療後に相談して初めて制度を知ったという方も多くおられます。今回の研修で、「お金がないから」と治療をあきらめている人を減らすことができれば」と取り組みました。もし、お困りの方がおられれば、同仁会の事業所にご相談ください。耳原総合病院・歯科診療所・歯科診療所・老健施設でご利用になれます。

(同仁会報編集委員会事務局)

夫の会社が倒産してさあ... 来月から収入なくなるねん(困)

えっ!! 大変やん! どうするん...

くすり もうないなあ...

診察の予約、取り消そうかな... 子どもの喘息の薬ももうなくなるのに... どうしよう...

こんな理由で 治療をためらっていませんか?!

無料・低額診療制度をご存じですか?

治療が必要であるにもかかわらず、経済的な理由により医療費の支払いが困難な場合でも無料・低額で受診できる制度です。無料・低額診療の適用となれば、医療費の自己負担金を減額または免除いたします。

詳しい内容は かかりつけのクリニック・診療所へお尋ねください。

シリーズ
みみはらの人 15

みみはら 十人十色

在宅で 頑張っている 家族の支援を したい



福山 祐輔さん 老健施設みみはら

長崎県佐世保市黒島町出身。大切にしていることは「親切」「正直」「丁寧」を心がけることです。ストレス解消は家族との団欒、子どもの寝顔は最高だそうです。

「この仕事をしていて「良かったと感じること」や「やりがいが」ある。」

介護を通して、社会に貢献できていると感じます。「親の介護」のために仕事を辞めなければいけない方が、入所や短期入所・通所介護を利用することで、安心して仕事を続けることができ、感謝された時は特にそう思いますね。

「これからやってみたい仕事や改善したいことは？」

「コロナ禍で季節感を味わう行事ができないことがあります。」「何か施設内でもできる行事があれば」と思います。コーヒーマシンをつまぐ入れる技術があれば、利用者さんも喜ばれるかと思っています。

「友の会や患者・利用者さんへの期待や伝えたい思いなどをどうぞ。」

介護でお悩みの方が多くおられると思います。また「まだまだ先のこと」と思っている方も多いでしょう。

しかし、「介護」はすべてここに潜んでいます。今日・明日、事故や病気・災害で親・兄弟・自分自身が介護を必要とするかもしれない。日ごろから、配偶者や家族・兄弟と「介護」について考える機会を持つてほしい。その中で、話題になった項目や不安などはぜひ、みみはらグループにご相談ください。

介護を受ける際には「介護保険制度」を利用することになります。私たちみみはらの介護職員は、大阪府内の民医連の介護職員の仲間と「介護ウエーブ」という取り組みを行っています。誰もが使いやすい介護保険制度や、介護職員の処遇の改善など政府に訴えるため、署名活動や啓発運動に取り組んでいます。署名など、ぜひご協力をお願いします。

「どんな仕事をしていますか?」

介護の仕事は多岐に渡ります。排泄・食事・入浴の支援だけでなく、人が生きる上で必要な行動のサポートを行います。

「何からしたらよいか分からない」と思いますが、ぜひみみはらグループに相談していただければと思います。

「コロナ禍で仕事の変化や苦労していることは?」

まずは感染対策です。施設に持ち込まない事を徹底するために、日ごろから外出・外食の自粛を行っています。マスクやゴーグルをつけての業務になるので、特に認知症の方の対応など、難しさを感じることも多いです。職員のストレスや心のケアも必須項目です。